

河川事業の再評価概要書

()は、前回再評価時

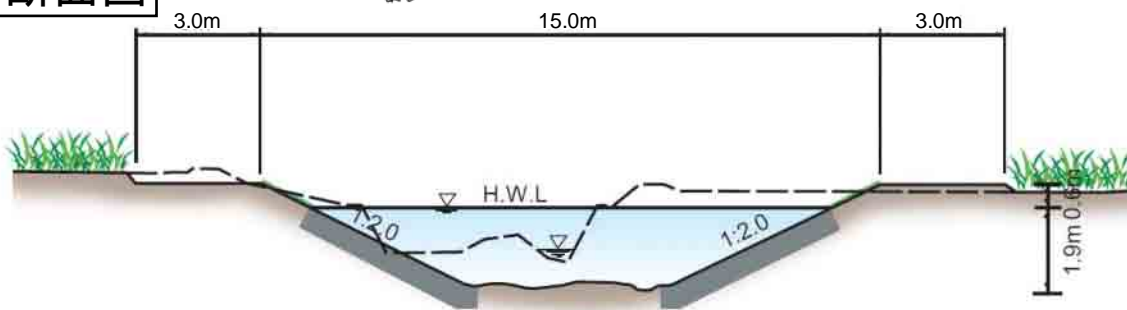
		番 号	102	
		事業主体	栃木県	
事業名	安全な川づくり事業		事業所管課	県土整備部 河川課
路線・河川名	一級河川 <small>こやぶがわ</small> 小藪川		事業箇所名	<small>かぬまし</small> 鹿沼市
事業区間	<small>かぬましはなおかまち</small> 鹿沼市花岡町地先～ <small>かぬましにしかぬままち</small> 鹿沼市西鹿沼町地先		事業延長	2,010m
平成9年度事業化			平成9年度用地着手	平成9年度工事着手
事業期間	(H9～H28) H9～H28	事業 進捗 状況	基準年次：【平成23年度末時点】	
〔うち用地補償費〕 全体事業費	[5.9 (5.9) 億円] 13.7 (13.7) 億円		〔うち用地補償費〕 既投資事業費	[4.6 億円] 8.0 億円
事業概要				
<p>小藪川は、鹿沼市街地の北西部に位置する岩山にその源を発し、鹿沼市の西部市街地を南下し、思川に合流する一級河川である。</p> <p>計画区間は、屈曲が著しく、河川断面が狭小で流下能力が不足していることから、豪雨時には浸水被害が生じている。</p> <p>そこで、河川断面の拡大を図り、氾濫を防止し浸水被害の解消を図る。</p>				
事業を巡る社会経済情勢等の変化				
計画区間沿川は、新鹿沼駅西土地区画整理事業 A=28.9ha により市街化が見込まれている。				
事業の投資効果				
① 費用対効果分析結果				
		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】	
1) 事業全体	B/C = 12.3	187.2 億円	15.2 億円	[L=2,010m 区間]
2) 残事業	B/C = 10.9	57.5 億円	5.3 億円	[L=1,285m 区間]
② 事業の整備効果等				
整備を図ることにより、宅地、道路や農地の浸水被害が解消される。				
事業の進捗状況等				
① 事業の進捗状況				
事業延長 2,010mのうち、下流端から富士見橋下流までの 725mの整備が完了している。				
② 今後の事業進捗の見込み				
今後の事業については、計画的に整備が進められる見込みである。				
コスト縮減等				
① コスト縮減方策				
河川工事で発生する土砂は、隣接する新鹿沼駅西土地区画整理事業の造成に流用し、工事費の縮減を図っている。				
② 代替案立案等の可能性				
計画区間は市街地内で、遊水地等の適地がないことから、現行計画が最適である。				
事業の対応方針(案)		現計画で事業を継続する。		

事業箇所(位置図、概要図)

位置図



標準断面図



計画流量	34m ³ /s
現況流下能力	概ね20m ³ /s

概要図

